

北海道 有珠モシリ縄文人の生と死



縄文文化の骨角器（鈿）



南海産イモガイ製腕輪

2022.

5.21[±]

入場無料

14:00~16:00
(開場 13:30)

※ 新型コロナウイルス感染症の拡大状況によって中止や一部変更の可能性があります。

会場

沖縄県立博物館・美術館
3F 講堂 (140席)

受付

事前申込 4/21(木)~
web・お電話・総合案内にて受付

お問合せ

098-941-8200
〒900-0006
沖縄県那覇市おもろまち 3-1-1



北海道の南西部にある有珠モシリ遺跡は約2000年前の「南海産イモガイ製腕輪」が出土したことで知られ、遠く離れた九州・沖縄にも関わりのある遺跡です。この遺跡からは縄文時代の終わりから縄文前中期（本州の弥生時代）までの貝塚と人骨を含む墓址が多数見つかっています。中でも2020年に発見した「多数合葬墓」からは非常に状態の良い人骨が11体分出土し、頭骨がきれいに配列された特異な墓址でした。

私たち考古学・人類学を研究する者は、骨や土器の一つ一つを丁寧に掘り、正確に記録に残すことで数千年前の人々が行った埋葬の方法を明らかにします。そこから、当時の人々の思考や風習、社会の有り様にまで迫りたいと考えています。今回の講演では、北の縄文人たちの生活と、死に関わる習俗についての最新の研究成果を紹介します。



あおの ともや
【講師】青野 友哉

東北芸術工科大学芸術学部
歴史遺産学科 准教授

1972年、北海道小樽市生まれ。明治大学文学部史学地理学科考古学専攻卒業。北海道大学大学院文学研究科博士後期課程修了。伊達市噴火湾文化研究所・学芸員、室蘭工業大学大学院・非常勤講師、洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会・学識顧問を歴任。2019年4月より現職。2015年『墓の社会的機能の考古学』（同成社2013年2月刊）で第5回日本考古学協会奨励賞受賞。趣味は低温殺菌牛乳の味くらべと牛乳瓶コレクション。

あなたの沖縄に出会う
沖縄県立博物館・美術館
Okinawa Prefectural Museum and Art Museum

【開館時間】9:00-18:00（金・土は20:00まで）
【休館日】月曜日（月曜祝日の場合は翌平日休館）



\\ 新型コロナウイルス感染拡大防止にご協力を！ /

- ・当日発熱や体調がすぐれない場合は参加をご遠慮ください。
 - ・マスクの着用、手指の消毒、健康状態の聞き取りにご協力ください。
 - ・ご自宅にて検温をお願いいたします。
 - ・新型コロナウイルス接触アプリ（COCOA/RICCA）をご活用ください。
- いつもご協力いただき、ありがとうございます。